



創刊
昭和42年10月10日
第151号
平成30年2月19日
能代市教育委員会
学校教育課
題字 元能代市教育長
鎌田 宏

巻頭言



努力の結果として

能代東中学校長

吉田 卓弥

平成30年大相撲初場所、平幕の栃ノ心関が、見事初優勝を飾りました。本来であれば4横綱の誰かが優勝に一番近かったはずですが、その通りにならなかったのが痛快にすら思われました。暴力事件で揺れる相撲界に一石を投じる結果となりました。栃ノ心は、膝のケガで幕下下位まで番付を落とし、そこからの再起でした。努力が報われた者を目にして、喜ばない人はいないはず。

さて、相撲界には救世主的な存在が出現しましたが、今の教育界で課題となっている働き方改革や新学習指導要領への移行等を、すっきりさせてくれる施策や方法はないのでしょうか。このことについては、取組(努力)を積み重ねる

しかないのかもしれない。

本校で実施したアンケートではほとんどの生徒・保護者が「学校に行くのは楽しい」との回答でした。大変ありがたいことです。来年度からは、全学年が単学級となります。各学級の生徒数が多いため学級担任を中心とした、生徒一人一人の見取りが大事になります。学習指導での工夫や丁寧な生徒指導も必要と考えます。

また、今年度同行した「豊島区との生徒交流事業」(2泊3日)では、様々な場面で活躍する各中学校代表生徒に、それぞれの学校を背負っていただくという頼もしさを感じました。違う中学校の同じ2年生が仲間の存在にも気付いたはずで、交流体験の大切さを

読むことの風景



～全校集会での群読～
浅内小学校

目の当たりにしたところです。積み重ねてきたことが、一つの出来事(ゼロ)になることもあります。意識を新たに繰り返して取り組むことが、保護者を始めとした地域の方々に理解してもらえることになると思います。

輝きの一場面 東雲中学校



「押せ！」自慢の応援団派遣
能代支援学校へ H29. 9. 21

多くの人と関わることで 「河北地区ミニ種苗交換会」 常盤小 教頭 矢田部瑞穂



本校では「いつでもどこでも誰にでも『考えをもつ』『はつきりと話す』」を目指すと掲げ、子ども像のサブテーマに「コミュニケーション能力育成のため、学校内外の多くの人たちと関わりをもつ機会を意図的につくってきました。その中の一つが「河北地区ミニ種苗交換会」。竹生・朴瀬・常盤の3校が一堂に会し、春から頑張ってきた作物作りを紹介したり、品評会を行いました。審査員は秋田県立大学教授・JAあきた白神の部長等。程よい緊張感の中、生き生きと活動を紹介する子どもたち「体験は自信につながる」ことを実感しました。